



事務局：〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町2-323 埼玉県立大宮高等学校  
E-mail [jaeis-jimu@jaeis.org](mailto:jaeis-jimu@jaeis.org) <http://jaeis.org/>

**第7期の学会活動開始にあたってのご挨拶**

会長 西野 和典（太成学院大学）

先日、役員・評議員の選挙結果が理事会および総会で承認され、本学会の第7期がスタートしました。今期も、引き続き会長を務めることになりました。森本副会長（東京学芸大学）、鷹岡副会長（山口大学）、齋藤事務局長（埼玉県立大宮高校）とともに、各支部、各委員会と連携して、皆様の研究・実践を発表・交流する場の提供、研究・実践の支援活動、さらに、情報科教育を推進するための情報発信や社会的活動を行っていきたいと考えています。ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍での学会活動の在り方や活動の方法を検討し、TV会議システムなどICTを活用して研究会や全国大会を実施するとともに、研究者と実践者の交流を進め、学会が活性化するように工夫していきたいと考えています。委員会活動や支部活動につきましても、より活発に活動が行われるように、定期的に学会企画・連携委員会を開催し、学会執行部と各委員会および各支部との連携を強化していきます。

第6期では、主として学会運営の財政的基盤を整えてきました。また、後半には、幼児教育および初等・中等教育に所属する教員の実践研究を支援する目的で「JAEIS 基金」を設置して寄付をお願いしましたところ、正会員、協賛会員の皆様から多額のご寄付をいただきました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。このJAEIS基金につきましては、今後、「実践研究奨励特別委員会（仮称）」を立ち上げ、基金の目的に沿って支援の方法を検討し、有効に活用したいと存じます。

さて、高等学校では、2022年度から新しい学習指導要領に基づく情報科教育が開始されます。共通教科情報科においては、「情報Ⅰ」が共通必修科目となり、すべての高校生が履修して学ぶこととなります。文部科学省から、高等学校情報科「情報Ⅰ」および「情報Ⅱ」の教員研修用教材がWebページに公開され、各都道府県で情報科教員に対する研修が開始されています。本学会においても、教員養成・研修委員会が研修講師の依頼を受ける窓口となっています。情報科の教員研修に対して、学会として積極的に貢献していきたいと考えています。

## 本号目次

会長あいさつ	1	報告 第14回研究会報告	4
案内 第13回全国大会案内	2	報告 第15回研究会報告	4
案内 近畿・北陸支部講演会および研究会	3	事務局からの連絡	6

また、今年10月に、大学入試センターから、2024年度に実施される大学入学共通テストの出題について、新たに共通教科情報科の「情報Ⅰ」を加え、7教科21科目で実施する検討案が発表されました。大学入試センターでは、「情報」の試作問題も作成され、高校、大学等から意見を収集して検討し、今年度中には一定の結論を出すとのことです。本学会では、今年4月に、情報学教育カリキュラム検討委員会を中心に「大学入学共通テストにおける共通教科情報科の出題について」が検討され、文部科学省に対して請願を行いました。第7期においても、「情報科」の大学入学共通テストの導入および実施に向けて、学会として積極的に情報発信を行っていきたいと考えています。

会員の皆様には、今後とも、本学会の活動に積極的に関わっていただき、研究・実践の成果をあげられることを切に願っております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本情報科教育学会第13回全国大会を下記の内容で開催いたします。また、JAEISフォーラムも全国大会に続いて12月27日（日）の午後、オンラインで開催いたします。多数、ご参加いただければと思います。

## 日本情報科教育学会 第13回全国大会のご案内

テーマ： 新型コロナウイルス渦でのオンライン教育の経験知の共有と教科情報の今後

日時： 2020年12月26日（土）27日（日）

場所： オンラインでの開催

大会趣旨：新型コロナウイルス（COVID-19、以下コロナと略す）の影響を受けて、初等中等教育でのオンライン教育等のICT活用教育の推進の機運が急速に高まっています。さらに広くいえば、オンラインを活用した様々な社会活動全体がポストコロナ時代の要請となっています。こうしたポストコロナの社会で活躍する子どもたちの育成の観点では、教科情報の役割がますます高まることが予想されます。本学会でも、コロナの影響で第13回全国大会（松本大会）の第14回大会（2021年度）への延期といった影響を受けました。しかし、本学会に所属する多くの研究者・教育実践者は、この間オンライン教育の実践を通じて、今後の教科情報とオンライン教育に関わる様々な知見を蓄積してきました。そこで、こうしたコロナの経験を踏まえた各会員の教育実践を共有する場を提供し、今後の情報科教育に関わる様々な知見を相互に意見交換することを目的に、第13回全国大会を開催することとします。

なお、本大会は、例年行われている日本大学文理学部で行われているフォーラムとの合同開催とし、あわせてオンラインでの開催とします。

詳細：大会詳細は、2020年度 日本情報科教育学会（JAEIS）第13回全国大会Webページをご覧ください。

## 日本情報科教育学会近畿・北陸支部講演会および研究会のご案内

共催 日本情報科教育学会 近畿・北陸支部  
共催 大阪芸術大学 短期大学部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日本情報科教育学会の支部活動につきまして、平素より、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、大阪芸術大学短期大学部と共催で、講演会・研究会を下記の通り開催することになりましたのでご案内いたします。多数の方が参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

なお、2020年度の近畿・北陸支部総会を開催しますので、併せてご連絡いたします。

### 記

日時：2021年3月28日（日） 13:00～17:00（受付12:30～）

場所：大阪芸術大学短期大学部 伊丹学舎（もしくは大阪学舎）

・伊丹学舎

兵庫県伊丹市荒牧4-8-70, <https://osaka-geitan.jp/guide/access/itami.html>

JR新大阪→JR大阪→（JR宝塚線/25分）JR中山寺→（徒歩10分）伊丹学舎

JR伊丹→（伊丹市バス25分）大阪芸術大学短期大学部前

・大阪学舎

大阪市東住吉区矢田2-14-19

<http://hoiku.osaka-geitan.jp/university/access.html>

JR大阪→JR天王寺→（徒歩）近鉄・大阪あべの橋→（南大阪線9分）矢田→（徒歩3分）大阪学舎

大阪メトロ梅田→（御堂筋線22分）大阪メトロ長居→（徒歩15分）大阪学舎

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方式を対面での現地開催からオンライン開催に変更する場合があります。オンライン開催に変更する場合は、2月26日までに決定してアナウンスいたします。ただし、この日程以降でも感染状況を考慮してオンライン開催に切り替えることがあります。また、情報交換会は現地開催の場合も開催いたしません。

### プログラム

○近畿・北陸支部理事会・総会（11:00～12:00）

・支部理事会 11:00～11:30

・支部総会 11:30～12:00

昼食（12:00～13:00）

## 日本情報科教育学会 第14 回研究会の報告

第14 回研究会を、近畿・北陸支部の担当で下記のような開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止から現地開催を中止させていただきました。投稿いただきました7本の発表原稿は日本情報科教育学会・第14回研究会報告書として、学会Webページに掲載させていただきました。

第14回研究会報告書：<http://jaeis.org/pdf/houkoku/minutes-2020-3-29-1.pdf>

日時：2020年3月29日（日） 研究会：13:00～17:00（受付12:30～）

場所：大阪芸術大学短期大学部 伊丹キャンパス 4階402教室

スケジュール：

13:00～ 開会

13:05～13:35 基調講演

13:40～16:50 研究発表・質疑応答（ラウンドテーブル検討中）

16:50～ 閉会

## 日本情報科教育学会 第15 回研究会の報告

JAEISの第15回研究会が、令和2年11月7日（土）に、本学会はじめてのZoomを活用したオンライン発表として開催しました。コロナ禍で会員の皆さまにおかれてましても何かと忙しい週末にもかかわらず、20名の皆さまにご参加頂き、発表、質疑応答、ラウンドテーブル、そして最後の広報まで、オンラインなので熱気は感じられませんが「盛り上がり」は感じる事ができた研究会でした。



写真1: 西野会長のご挨拶

はじめに、西野会長(写真1参照)より、本研究会が研究会委員会・支部・教員養成研修委員会の連携で準備・当日運営がなされていることをご説明頂き、現在我々にとってホットな話題である教科「情報」の入試とJAEISが貢献できる点についてお話ししました。

その後、4件の研究発表(写真2参照)とラウンドテーブルが行われました。



写真2: 研究会の発表の様子



写真3: 情報科の課題と展望(Jamboard活用)

ラウンドテーブルでは、「これからの情報科教育」というテーマで、本学会教員養成研修委員会の阿濱委員長に司会とコーディネータをお願いしました。GoogleのJamboardを活用して、研究会参加者が「情報科の課題や展望」をコメント（意見）として書き出し、さらに、「大学入試」，「情報II」，「プログラミング教育」にターゲットを絞って各項目の問題についてコメントをつけて頂く活動を行いました。また、書き込んで頂いたコメントや問題についての意見交換も行いました。意見交換の時間は限られていましたが、情報科の課題や展望についてのコメント(写真3参照)は有意義な成果であり、今後の本学会の活動を検討する際に役に立つ資料になると考えております。

次回、第16回研究会は、次年(2021年)3月を予定しております。多くの会員の皆さまのご発表とご参加をお待ちしております。

#### JAEIS第15回研究会プログラム

13:00-13:10 開会の挨拶 西野 和典 会長

13:10-14:00 一般発表 (1)

- (1) 13:10-13:35 自己調整学習モデルを用いたプログラミング教育実践と成果 (1)  
-プログラミング用ホログラム教材を活用して-  
若杉 祥太 (芦屋大学) , 中谷 有里 (芦屋大学) ,  
納庄 聡 (京都府立嵯峨野高等学校) , 鷹岡 亮 (山口大学)
- (2) 13:35-14:00 実践報告「ICT利活用 情報科の一場面」  
山下 裕司 (山口県立岩国高等学校)

14:00-14:10 休憩

14:10-15:10 ラウンドテーブル テーマ：「これからの情報科教育」  
司会：阿濱 茂樹 (山口大学)

15:10-15:20 休憩

15:20-16:10 一般発表 (2)

- (3) 15:20-15:45 情報科教員養成課程における  
授業を対象としたプログラミングを題材としたジグソー型授業の検討  
山田 雅之 (九州工業大学) , 遠山 紗矢香 (静岡大学)
- (4) 15:45-16:10 オンラインプログラミング環境Google Colaboratoryにおける  
動画視聴型のPythonの導入実践  
山本 周 (東京理科大学大学院) , 清水 克彦 (東京理科大学)

16:10-16:20 閉会の挨拶 尾崎 知伸 研究委員会委員長

## 事務局からの連絡

- ・所属等の変更のある方は、至急、ご連絡ください。
- ・会費未納の方は、会費の納入をお願いします。年会費が未納の場合、学会誌に投稿できない、学会誌が送られない、また、全国大会や研究会（研究委員会主催）での発表ができないなどの措置がとられます。

金額等については、下記でご確認ください。

<http://jaeis.org/nyukai/>

### 会費振込口座

【金融機関名】 ゆうちょ銀行

【口座種別】 振替口座

【口座番号】 00190-1-317944

【加入者名】 日本情報科教育学会（ニホンジョウホウカキョウイクガッカイ）

【金融機関名】 三井住友銀行 高田馬場支店(273)

【口座種別】 普通預金口座

【口座番号】 4435574

【口座名義】 日本情報科教育学会（ニホンジョウホウカキョウイクガッカイ）

※ 振り込み手数料につきましては大変恐縮ではございますが、各自ご負担戴きます様  
お願い申し上げます。

日本情報科教育学会ニューズレター No. 32 2020年12月20日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町2-323 埼玉県立大宮高等学校

E-mail [jaeis-jimu@jaeis.org](mailto:jaeis-jimu@jaeis.org)

### 発行責任者 広報委員会

委員長：高橋 等（静岡産業大学） 副委員長：坂田 圭司（東海大学）

委員：笥 捷彦（東京通信大学） 池田 勇（植木保育園） 青山 貴史（福岡県立新宮高等学校）

齋藤 ひとみ（愛知教育大学） 後藤 隆彰（東洋大学） 尋木 信一（有明工業高等専門学校）

永田 奈央美（静岡産業大学）